

今さら聞けない！
資産運用の初歩の初歩
～老後準備は早くて損はない～

IFA法人GAIA株式会社
平川 雅樹

《特典》 無料FP個別相談をご用意

動画の最後にご案内があります。最後までご視聴ください



東京・新宿／大阪・梅田
オフィスでのご相談



＼自宅からFPに相談！／

カンタン接続

- **ZOOM** を使用 -

お持ちのパソコン、タブレット、
スマートフォンに対応！

オンラインでのご相談



講師プロフィール



IFA法人GAIA（ガイア） 資産形成推進部 部長 平川 雅樹

1986年、山一証券入社。その後AIU保険、メリルリンチ日本証券にて資産運用コンサルティングに従事。
東京スター銀行ではリテール営業部門(全支店)を統括し、リテールのお客様に金融サービスを企画・提供。

2006年、日興アセットマネジメント(運用会社)ではシニアマネジャーとして銀行本部を担当。数多くの顧客セミナー及び投信運用報告会を実施（年間100回）

2009年から7年間、PWM日本証券(IFAビジネス専門の証券会社)にて、執行役員営業推進部長としてIFAビジネスに従事。

2017年IFA法人のブルーデント・ファイナンシャル・パートナーズの代表取締役として5000人以上のお客様に対し資産運用、資産形成セミナーを開催。
2020年9月より現職。

金融商品仲介業者（IFA）GAIAとは

- 創業15年目のファイナンシャルアドバイザーの会社です。
- ファイナンシャル・プランニングに基づき、金融商品に対するアドバイス、金融商品の仲介を行なっています。



※金融商品仲介業とは

金融商品仲介業とは、金融機関が証券会社の委託を受けて、投資信託や有価証券の売買の媒介等を行なうことをいいます。

金融商品仲介業者（IFA）GAIAとは

GAIA

お客様の夢を実現する
二世代プライベートfp

GAIA株式会社

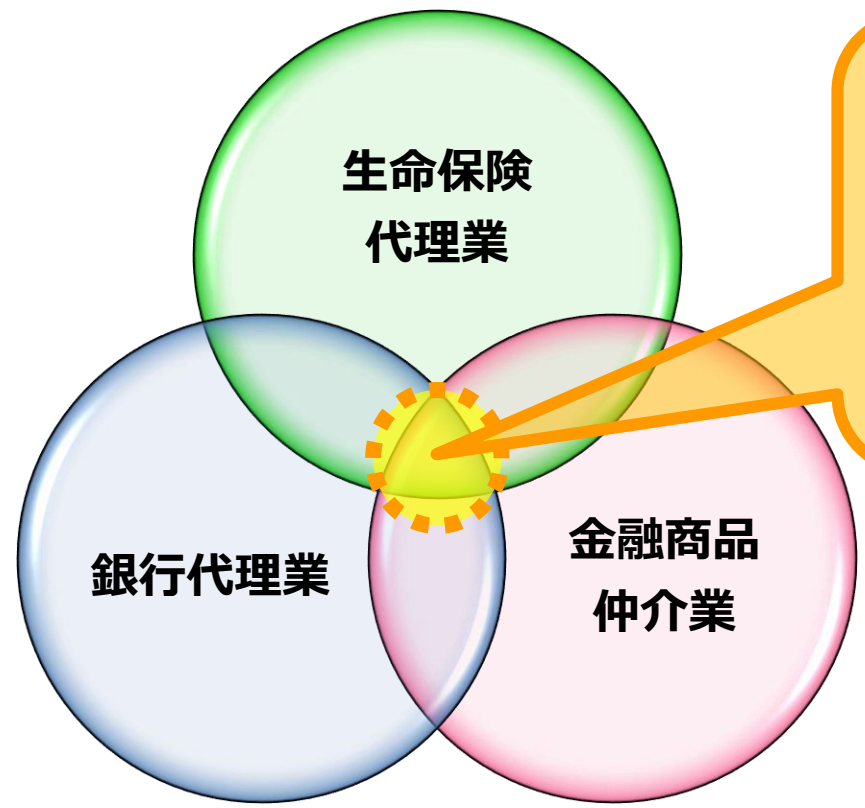
- ▶ 2006年2月設立
- ▶ CEO 中桐 啓貴
- ▶ 資産運用設計アドバイス事業／金融商品仲介業／銀行代理業／生命保険代理業



ワンストップのサービスを提供します

GAIA

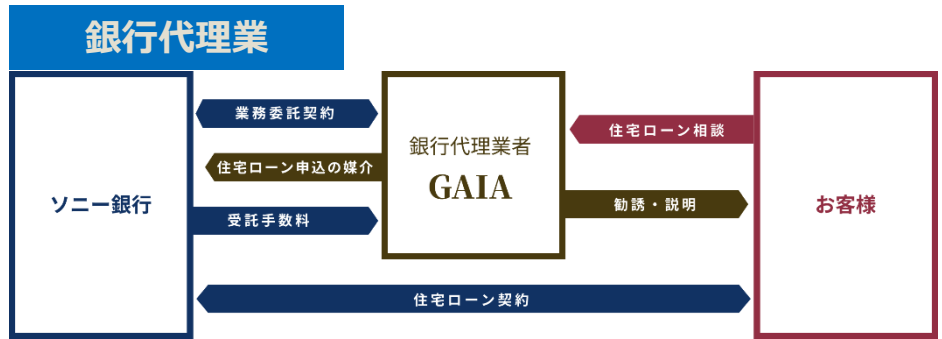
お客さまの夢を実現する
二世帯プライベートfp



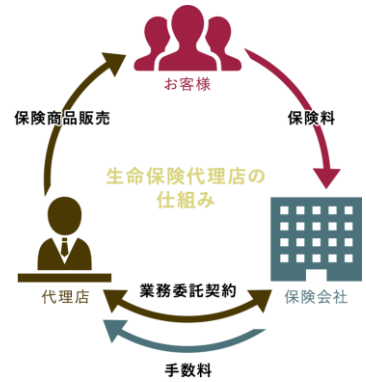
3つの事業を行うIFAは、
日本でわずか約**6社**※

2020年10月現在

※金融庁2020年3月「金融サービスの利用者の利便の向上及び保護を図るための 金融商品の販売等に関する法律等の一部を改正する法律案 説明資料」を基にGAIA作成



- ◆GAIA株式会社はソニー銀行を所属銀行とする銀行代理業者です。
- ◆GAIA株式会社では、住宅ローンのお申し込みの媒介ができます。



ゴールを見据えた資産運用

現役～老後のライフイベント・イメージ

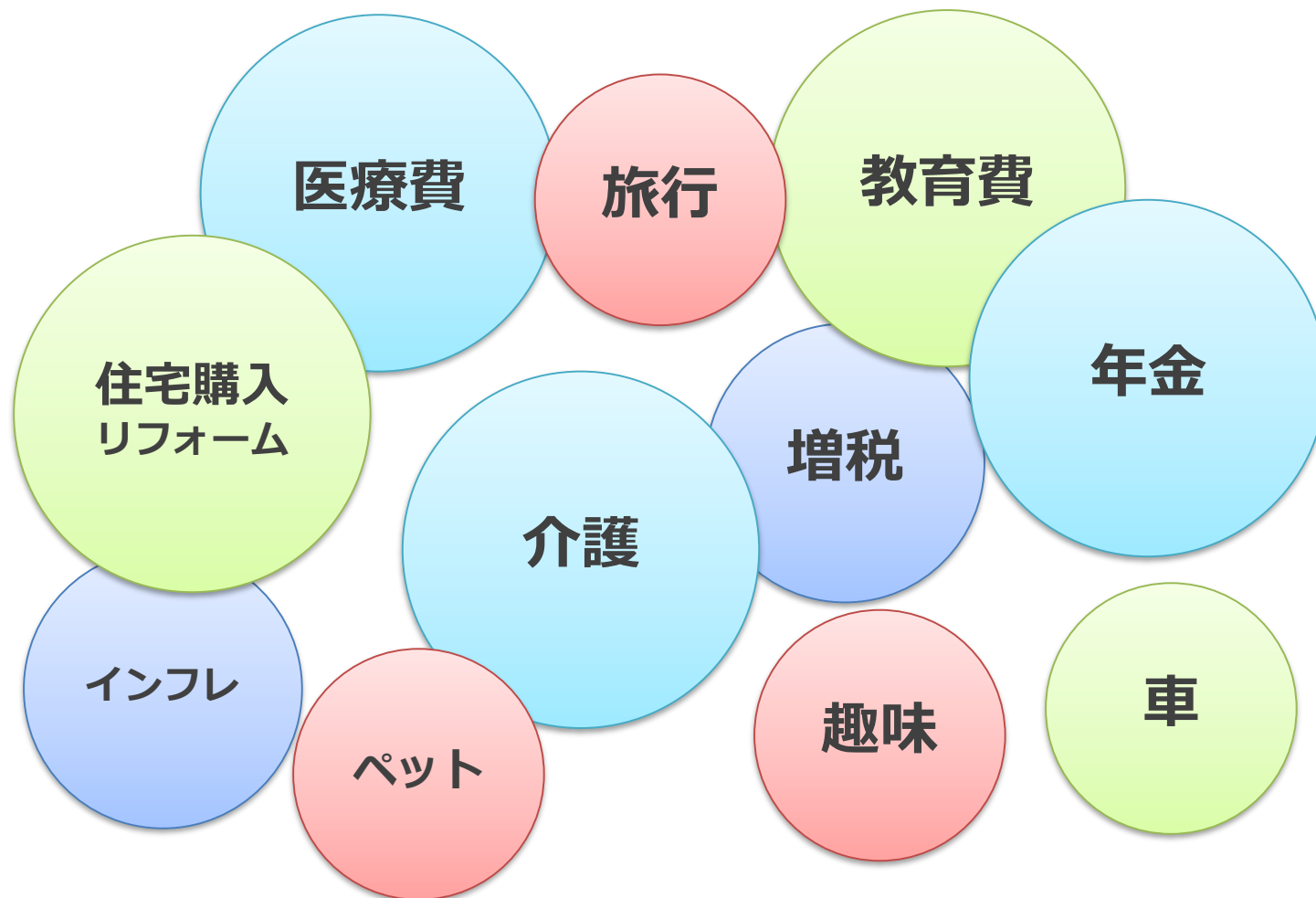
《現役の期間》



《老後の期間》



ライフイベントではさまざまな支出・変化が伴います



ライフイベントを見据えた
資産形成が重要です

お子さまの教育にかかる費用

《在学中にかかる費用》

万円

	幼稚園	小学校	中学校	高校	大学	合計
公立	65	193	146	137	574	1,115
私立	158	959	422	290	813	2,643

例) 中学校までは公立
高校・大学は私立…1,508万円



文部科学省「平成30年度子供の学習費調査」日本学生支援機構「平成30年度学生生活調査」をもとに作成

住宅の購入にかかる費用

マンション購入費用とローン返済に関する平均データ (3大首都圏の場合)

購入価額	手持金 (頭金)	予定返済額
4,641万円	739万円	12万円/月



住宅金融支援機構「フラット35利用者調査報告（2018年度）」より作成

多くの方に共通する課題…

《現役の期間》



《老後の期間》



老後資金の準備が必要

老後資金の準備

《老後の期間》

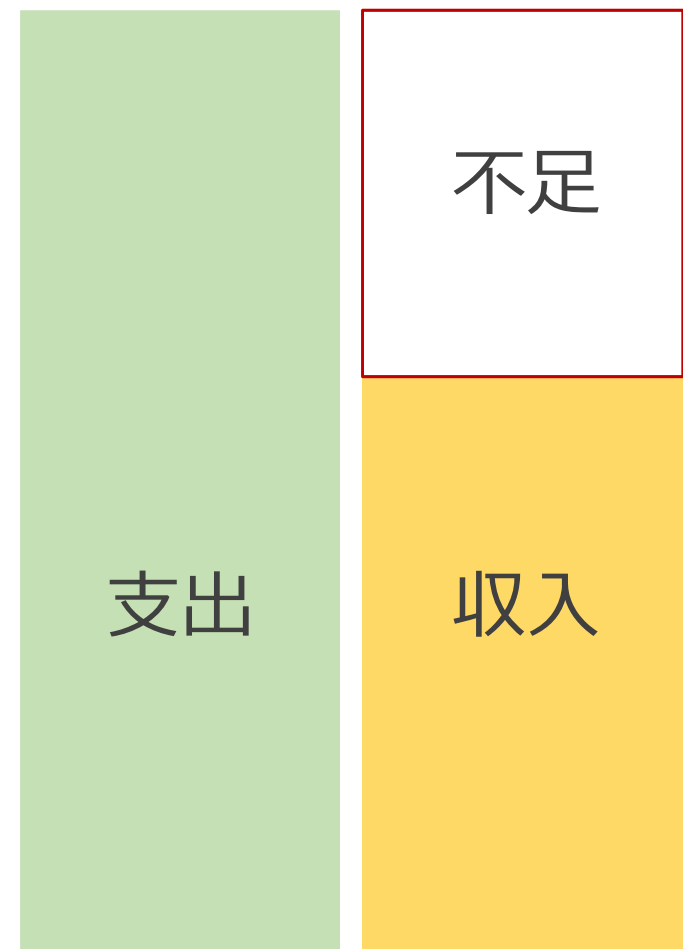


人生100年時代…
老後資金不足は全世代に共通するお悩み

ご不安を抱えるお客さまが多く
FP相談においても
たくさんのご相談を頂いています

老後に必要となる費用の考え方

老後期間全体の収支



例) 老後期間30年 (65歳～95歳)

- 支出36万円/月 (ゆたかな老後)
- 収入22万円/月 (高齢夫婦無職世帯)
- 不足14万円/月

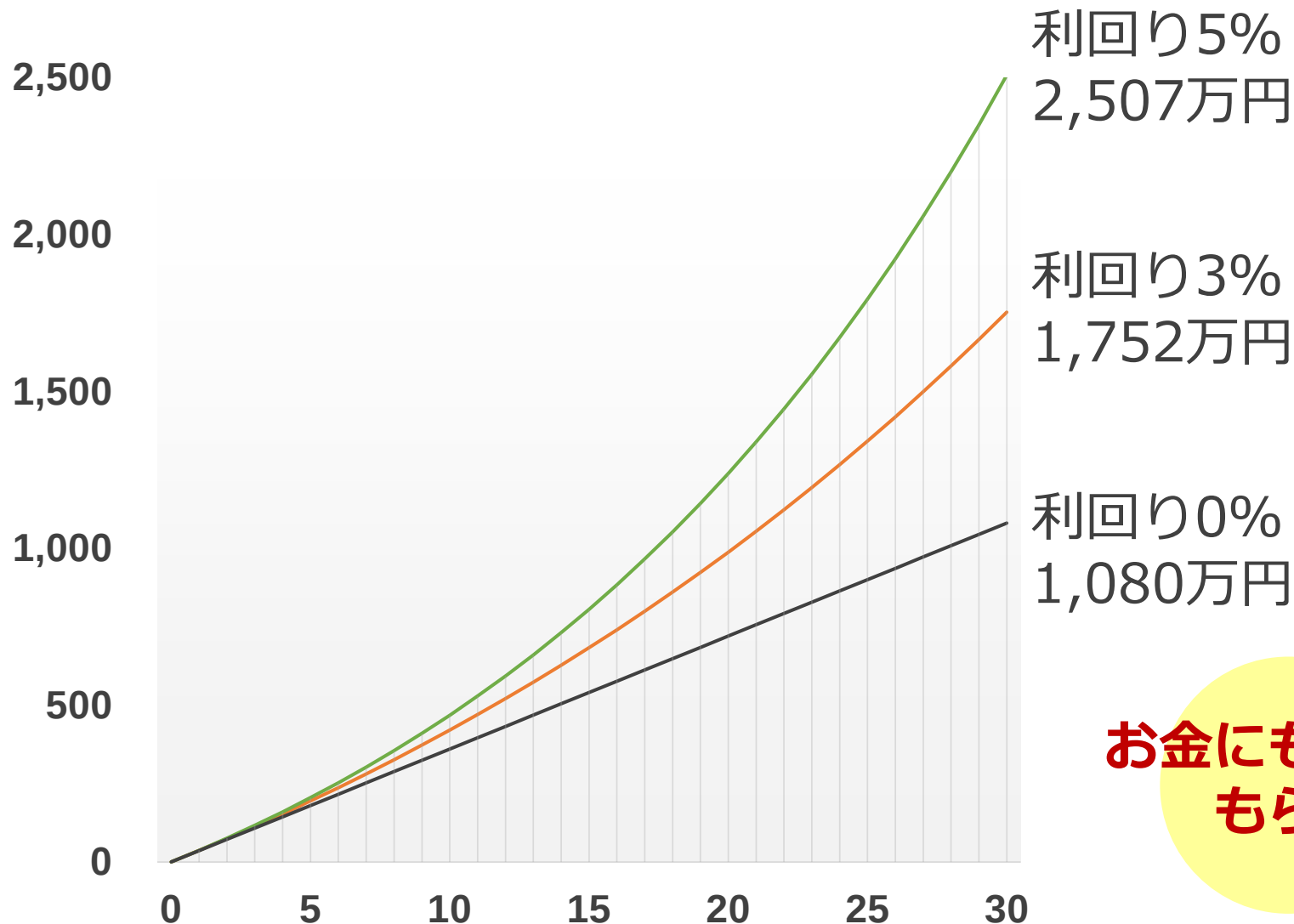
老後期間全体で5,040万円が不足



それぞれの
ゴールに向けて
早めに準備

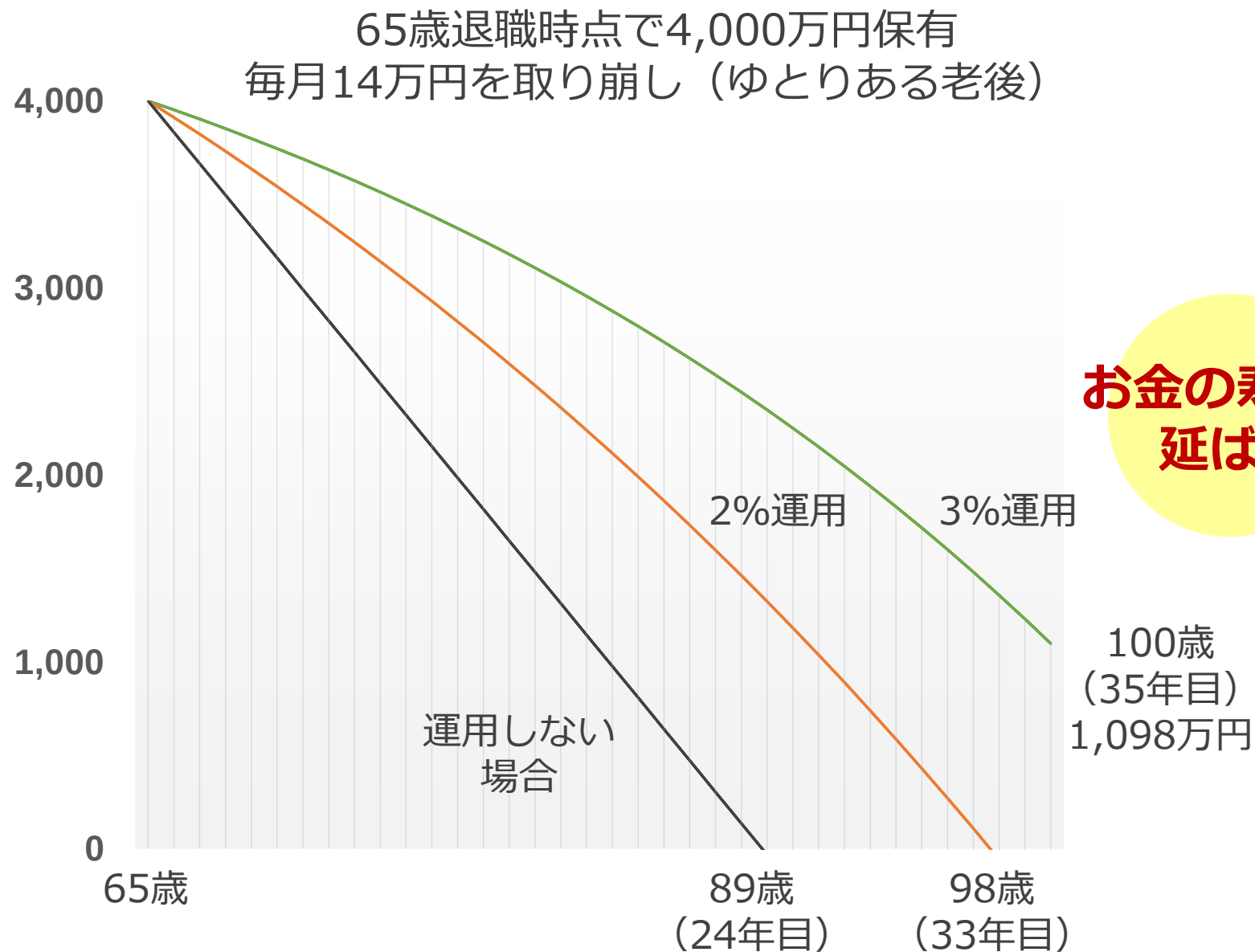
現役の期間は、貯めながら増やす

30年間・毎月3万円の積立を行う場合



**お金にも働いて
もらう**

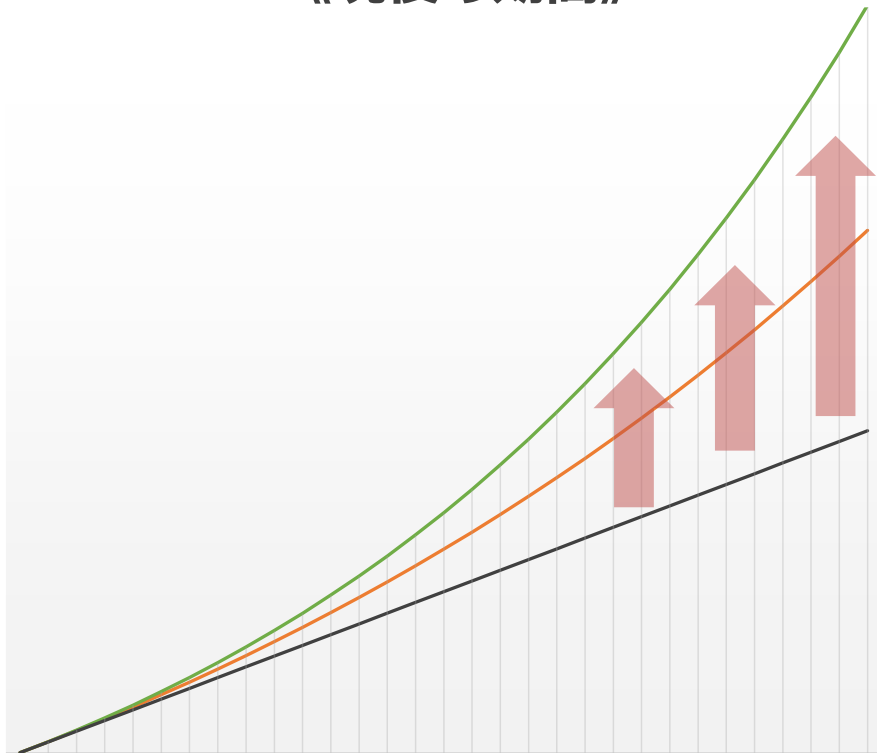
老後の期間は、増やしながら取り崩す



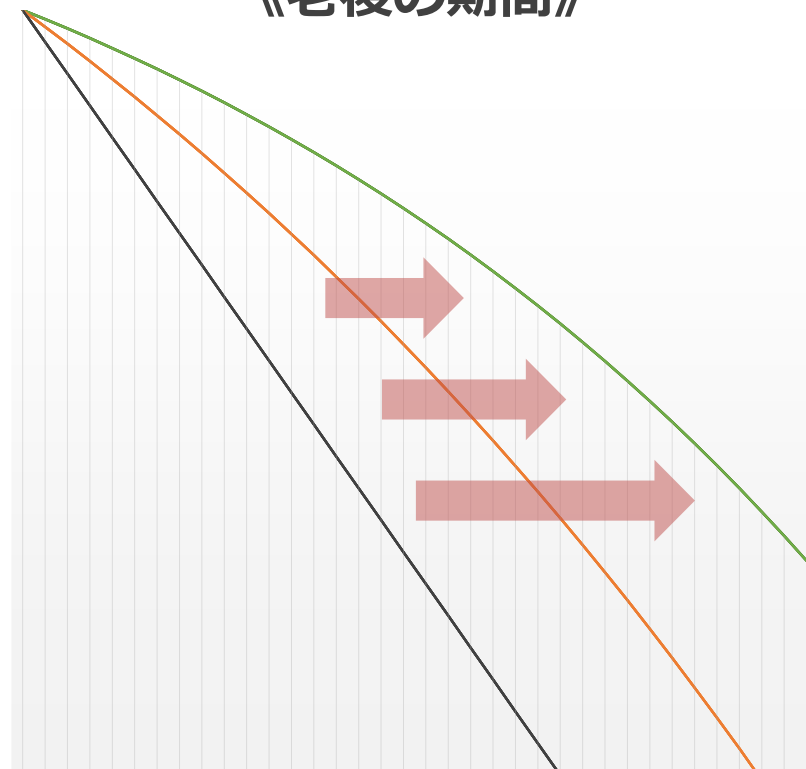
お金の寿命を
延ばす

現役～老後 それぞれの期間のポイント

《現役の期間》



《老後の期間》



お金に働いてもらい、お金の寿命を延ばすには…
資産運用の力を借りましょう
(適切な金融商品の選択が必要)

お金に働いてもらうには資産運用が必要ですが…



《●●証券》

これからはこの株が
上がりそうですよ！



《●●銀行》

今ならこの投資信託が
オススメです！



《●●生命保険》

この保険商品は皆さまに
喜ばれています！

私たちにとって
本当に良いもの
必要なものは？？



ファイナンシャル・アドバイザーの役割

- ✓現状の分析
- ✓課題の洗い出し
- ✓ゴール（目標）設定

- ✓解決策のご提案
- ✓最適な金融商品の目利き
- ✓ゴールに向けて伴走

それぞれの
ファイナンシャル
ゴール（目標）



資産運用の初歩の初歩 押さえておくべきポイント

①分散投資について

主要国・地域株式：国・地域別リターン（円ベース）

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 年初来	2019年 第3四半期	2009～18年(10年間) 年率 リターン	2009～18年(10年間) 年率 リスク
1	中国 96.9%	日本 -40.6%	インド 108.2%	インド 5.5%	米国 -3.2%	インド 42.1%	米国 60.7%	中国 69.5%	日本 12.1%	新興国 (除アジア) 21.8%	アジア (除く日本) 36.9%	米国 -6.9%	米国 18.8%	日本 3.4%	米国 15.3%	中国 27.8%
2	インド 62.5%	米国 -48.9%	新興国 (除アジア) 90.2%	アジア (除く日本) 4.6%	先進国 -9.9%	アジア (除く日本) 38.4%	先進国 54.6%	インド 40.9%	中国 5.0%	米国 8.9%	インド 33.7%	インド -9.8%	先進国 16.4%	米国 1.9%	インド 12.8%	インド 26.8%
3	アジア (除く日本) 31.9%	先進国 -54.8%	中国 84.5%	新興国 3.9%	世界全体 -11.7%	欧州 35.3%	日本 54.4%	米国 29.3%	米国 1.8%	新興国 8.6%	新興国 32.7%	先進国 -16.6%	世界全体 15.0%	先進国 0.9%	アジア (除く日本) 12.5%	新興国 (除アジア) 23.0%
4	新興国 31.2%	世界全体 -52.8%	新興国 83.7%	新興国 (除アジア) 3.7%	欧州 -15.1%	新興国 22.8%	欧州 52.0%	先進国 20.0%	先進国 0.0%	世界全体 5.5%	日本 22.2%	世界全体 -11.4%	欧州 12.7%	世界全体 0.3%	先進国 12.4%	欧州 20.8%
5	新興国 (除アジア) 29.3%	欧州 -56.3%	アジア (除く日本) 77.1%	日本 1.0%	日本 -17.0%	世界全体 31.7%	世界全体 49.9%	アジア (除く日本) 45.0%	世界全体 -1.5%	先進国 5.2%	欧州 21.6%	新興国 (除アジア) -13.9%	中国 10.2%	欧州 -1.5%	世界全体 12.2%	新興国 20.7%
6	欧州 27.4%	アジア (除く日本) -61.3%	欧州 42.1%	米国 0.0%	アジア (除く日本) -21.4%	先進国 31.4%	アジア (除く日本) 25.4%	世界全体 19.1%	欧州 -2.0%	アジア (除く日本) 2.9%	新興国 (除アジア) 26.0%	日本 -16.0%	日本 8.8%	新興国 -3.9%	新興国 10.5%	アジア (除く日本) 28.1%
7	世界全体 5.3%	新興国 -62.0%	世界全体 39.0%	世界全体 -1.3%	中国 -22.1%	米国 30.8%	新興国 18.6%	新興国 11.7%	インド -5.8%	日本 0.3%	世界全体 20.1%	アジア (除く日本) -16.4%	新興国 4.7%	アジア (除く日本) -4.2%	欧州 8.9%	世界全体 17.9%
8	先進国 2.8%	新興国 (除アジア) -62.4%	先進国 34.2%	先進国 -2.0%	新興国 -22.4%	新興国 (除アジア) 29.5%	インド 16.7%	日本 10.3%	アジア (除く日本) -8.6%	欧州 -2.5%	先進国 18.6%	新興国 -16.5%	新興国 4.5%	インド -5.0%	日本 7.9%	先進国 17.9%
9	米国 -1.0%	中国 -69.9%	米国 29.8%	欧州 -8.9%	新興国 (除アジア) -23.8%	日本 20.9%	中国 16.5%	欧州 7.3%	新興国 -14.3%	インド -4.1%	米国 17.4%	欧州 -16.6%	アジア (除く日本) 4.4%	中国 -6.1%	新興国 (除アジア) 7.2%	米国 17.6%
10	日本 -11.1%	インド -71.3%	日本 7.6%	中国 -22.8%	インド -40.4%	中国 17.6%	新興国 (除アジア) 10.1%	新興国 (除アジア) -1.4%	新興国 (除アジア) -24.8%	中国 -20.4%	中国 9.6%	中国 -30.3%	インド 0.6%	新興国 (除アジア) -6.1%	中国 5.1%	日本 17.2%

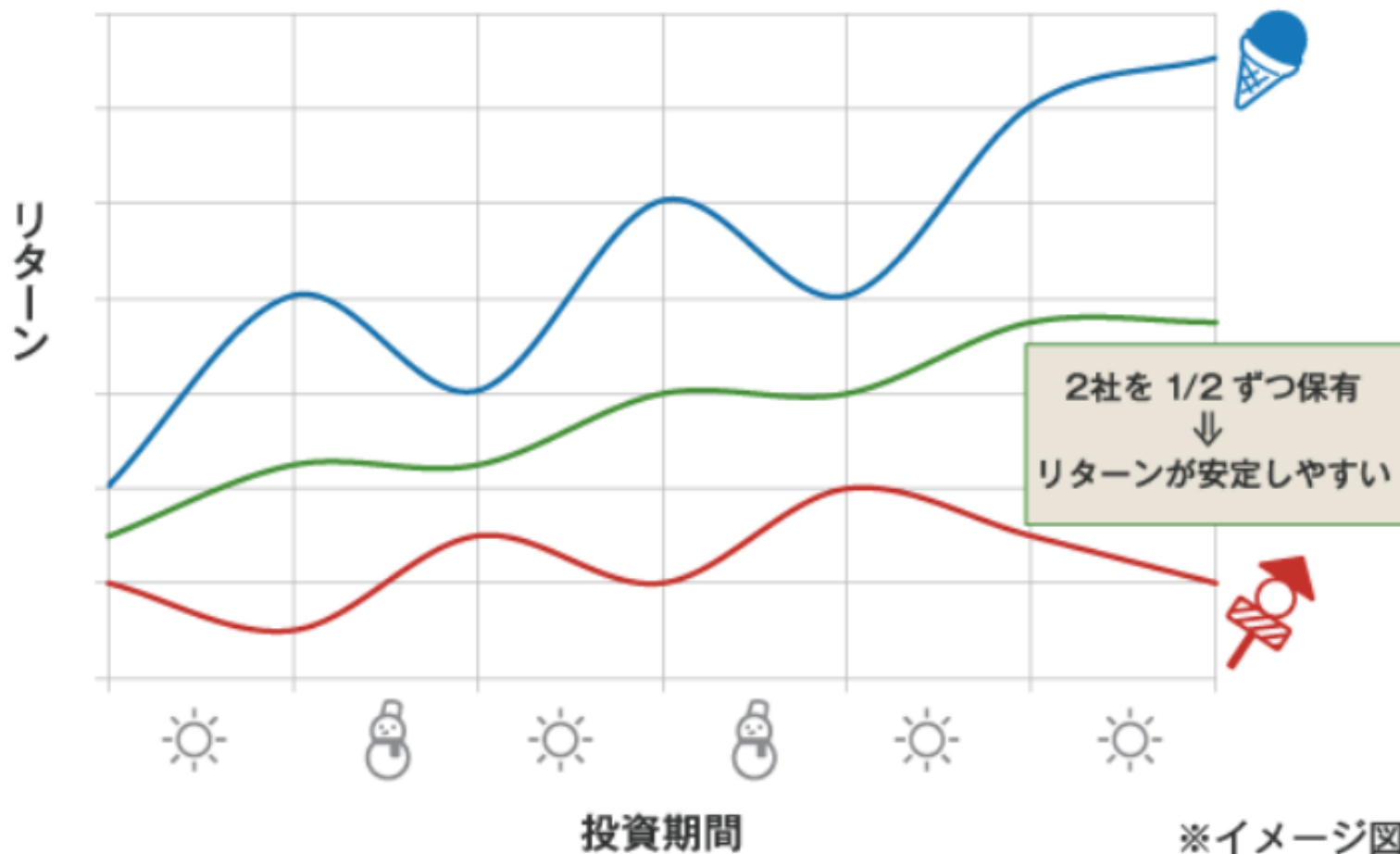
高

どこが上昇するのは当てられないと考える

出所：MSCI、S&P Dow Jones Indices LLC、上海証券取引所、東京証券取引所、Bloomberg Finance L.P.、J.P. Morgan Asset Management
 注：円ベース。中国は価格リターン、その他はトータルリターン（配当を含む）。使用した指数は次のとおり。「米国」：S&P 500 Index、「日本」：TOPIX、「欧州」：MSCI Europe Index、「中国」：上海総合指数、「インド」：MSCI India Index、「世界全体」：MSCI All Country World Index、「先進国」：MSCI World Index、「アジア（除く日本）」：MSCI All Country Asia ex Japan Index、「新興国」：MSCI Emerging Markets Index、「新興国（除アジア）」：MSCI Emerging Markets ex Asia Index。
 データの出所およびもしくはは計測時点が異なるため、他のページの数値とは異なる場合がある。
 データは2019年9月30日時点で取得可能な最新のものを掲載。過去のパフォーマンスは将来の成果を示唆・保証するものではありません。

効果的な分散投資のイメージ

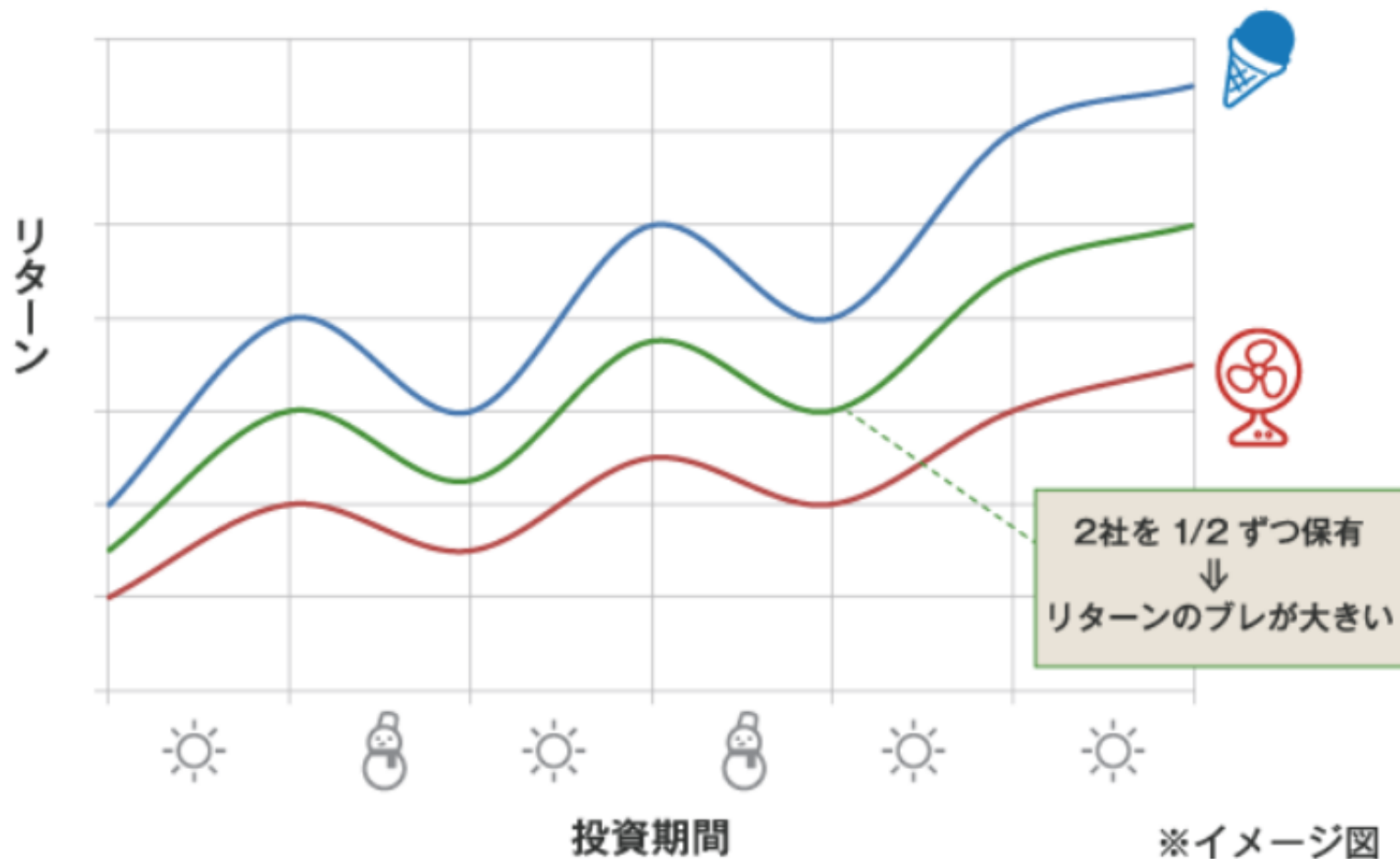
アイスクリーム会社とおでん会社の株式



年金積立金管理運用独立行政法人のHPより抜粋

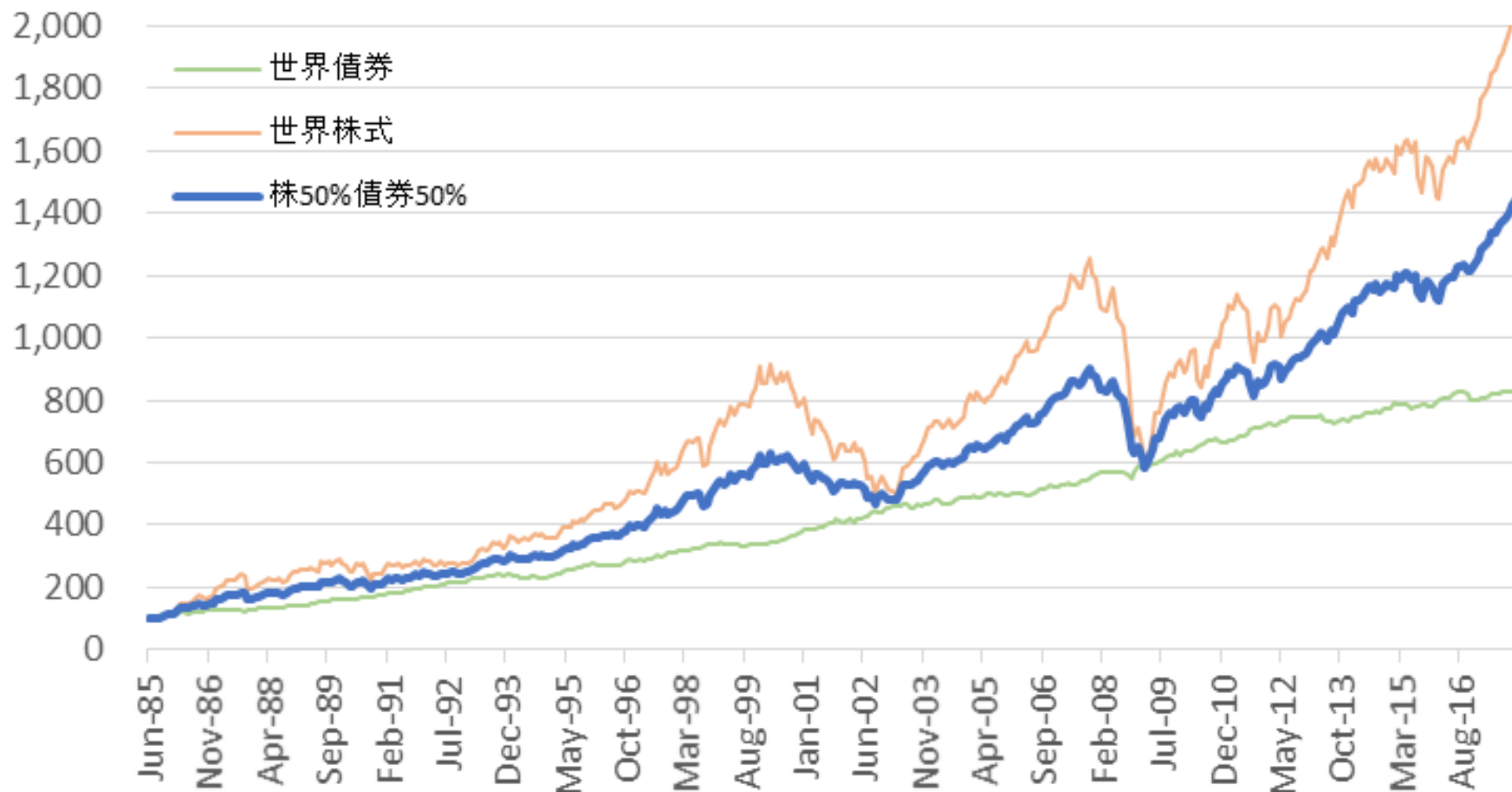
このような分散投資は…

アイスクリーム会社と扇風機メーカーの株式



年金積立金管理運用独立行政法人のHPより抜粋

分散投資の効果（株式と債券の場合）

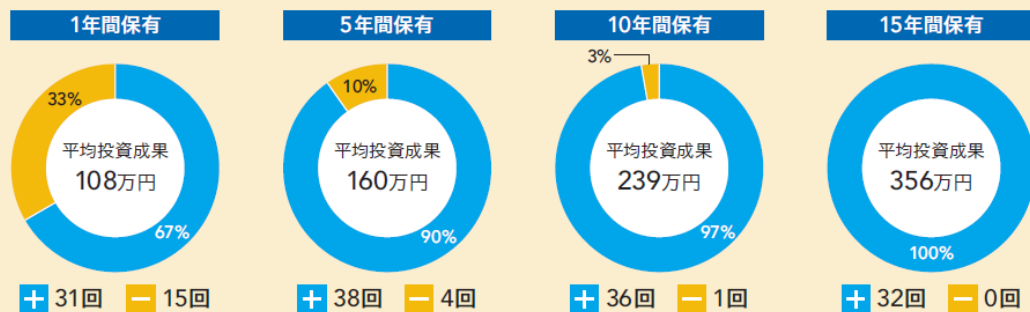


値動きの異なる資産を組み合わせて投資すると
全体の値動きは小さく抑えられる

②長期投資について

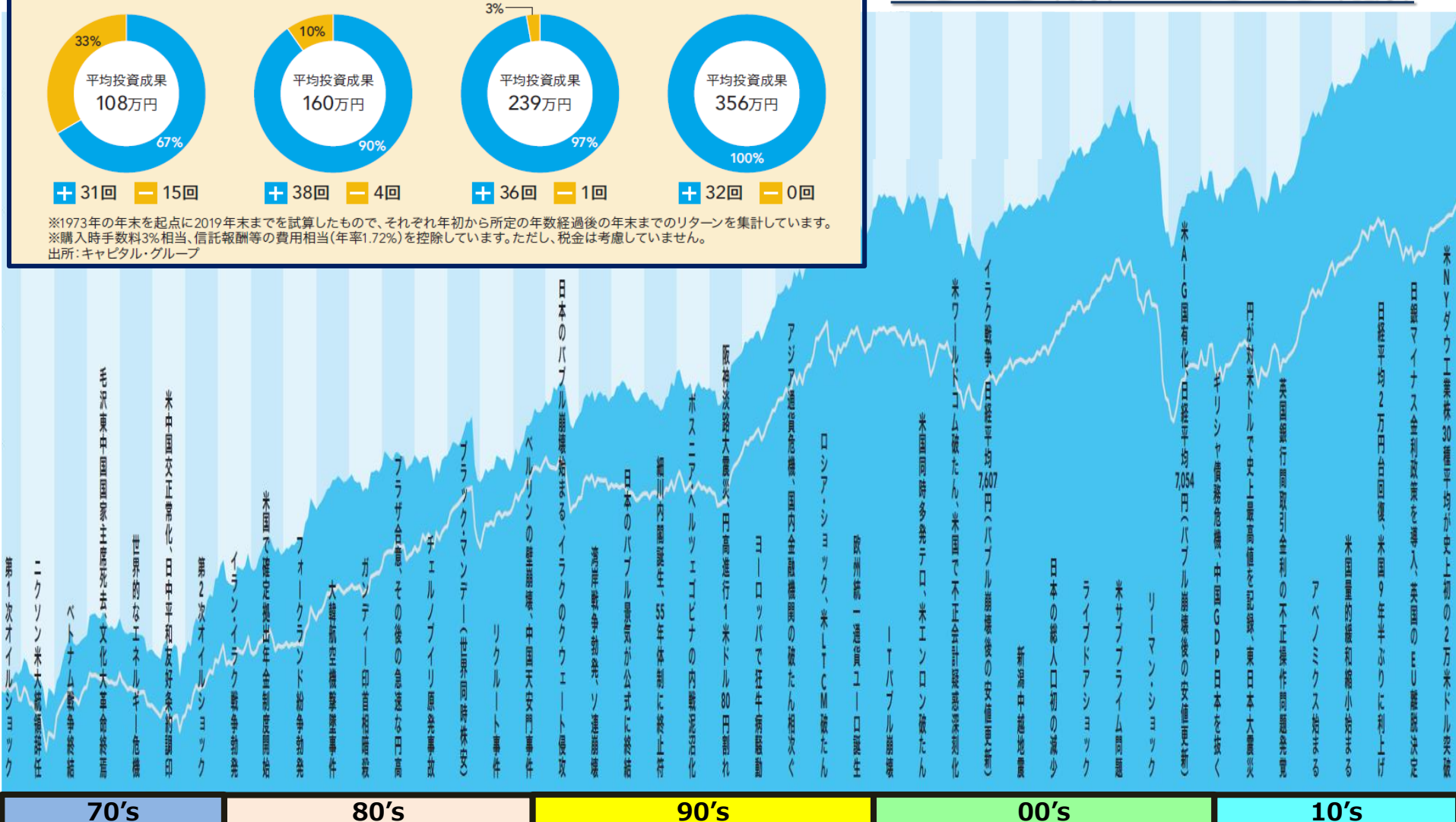
資産運用は世界経済の成長の恩恵に授かること

保有期間別にみた損益の回数とその割合



※1973年の年末を起点に2019年末までを試算したもので、それぞれ年初から所定の年数経過後の年末までのリターンを集計しています。
※購入時手数料3%相当、信託報酬等の費用相当(年率1.72%)を控除しています。ただし、税金は考慮していません。
出所:キャピタル・グループ

1973年3月末～2019年12月末



70's

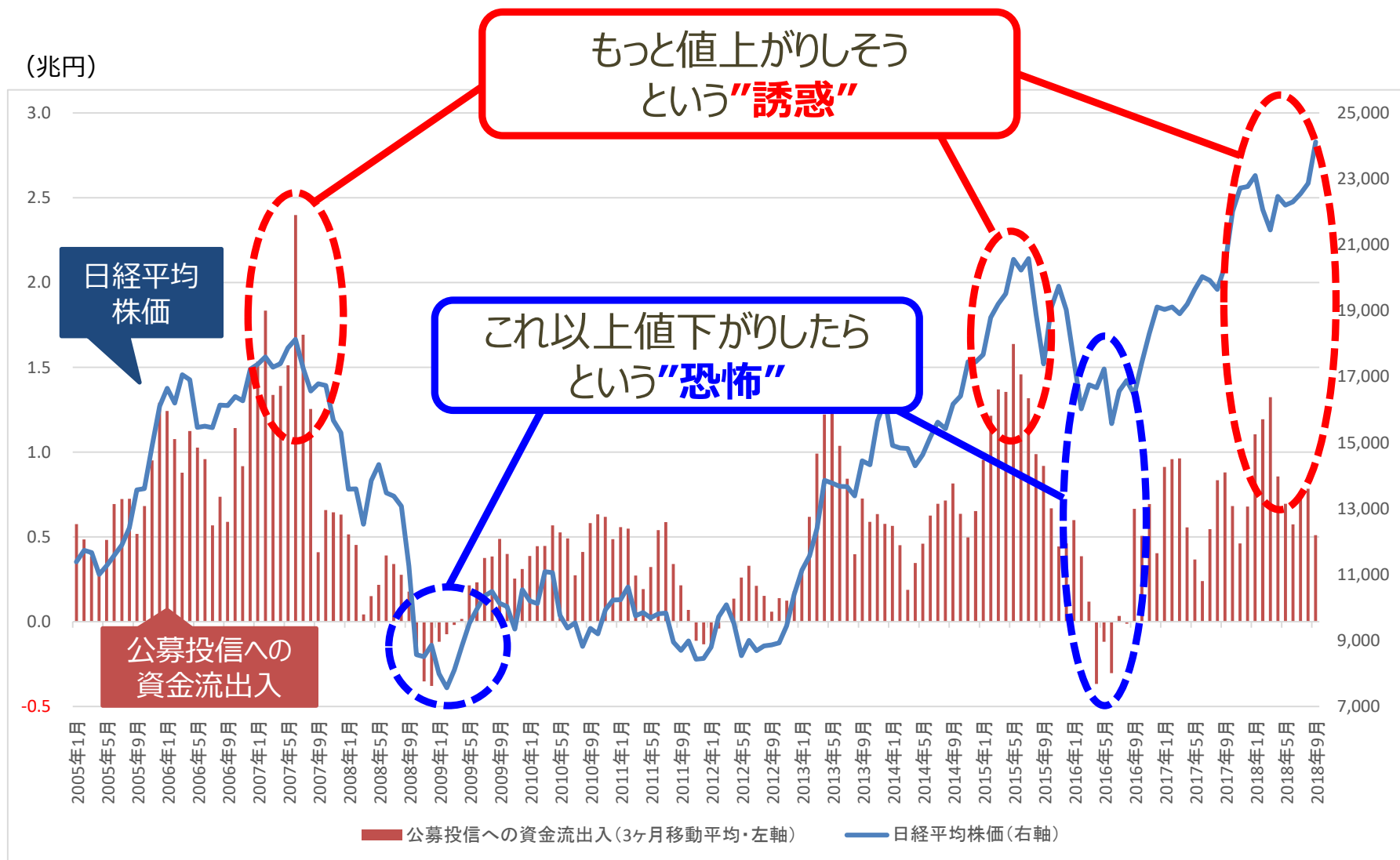
80's

90's

00's

10's

「長期投資」と頭では分かっているても・・・



＜出所＞公表データよりGAIA作成

人は必ずしも合理的な行動ができないもの



●●ショック
値下がりの恐怖
(長期保有できず)

●●関連銘柄が
上がりそう？
偏った銘柄に集中
(分散投資できず)

分散・長期投資
正しいと分かっているいても
実行するのは意外と難しい

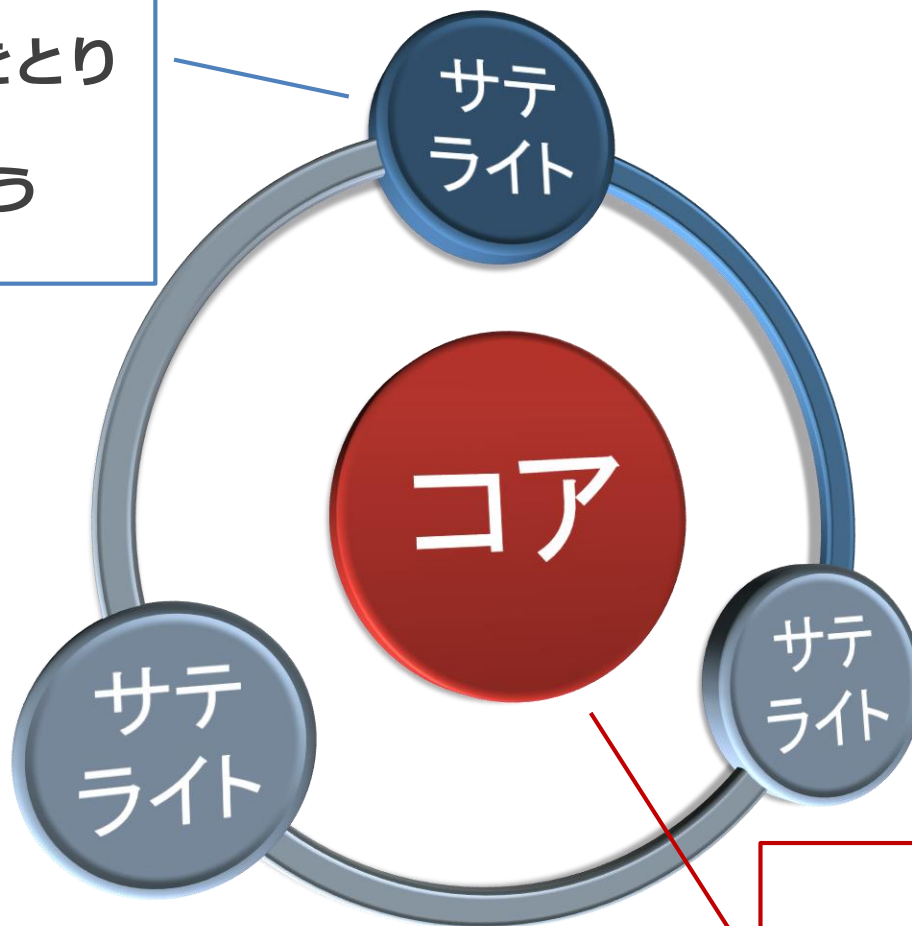


気持ちに負けないよう
ファイナンシャル・アドバイザーは
伴走しゴールを目指します

③コア・サテライト戦略 目的にあった商品選び

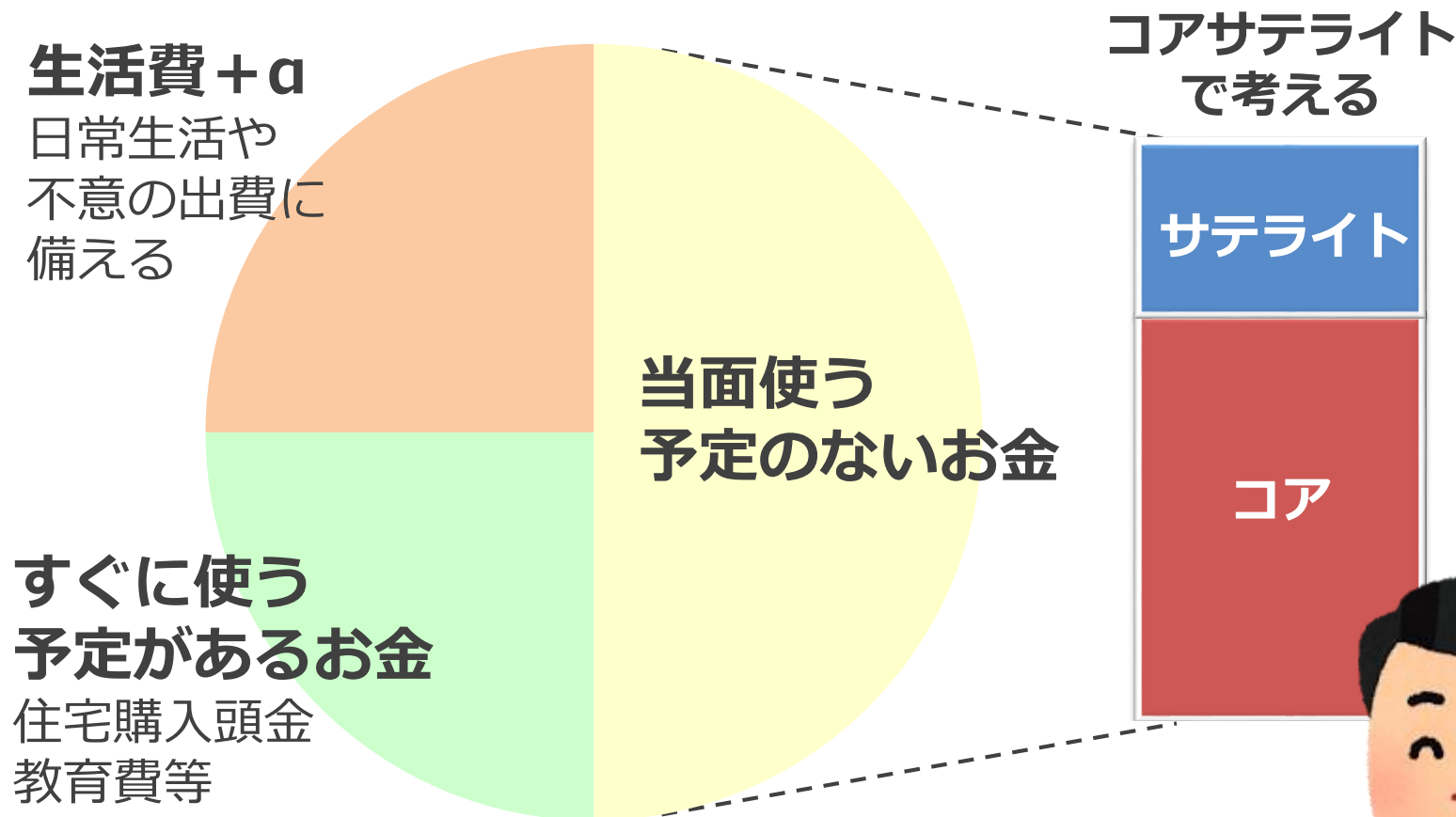
コア・サテライト戦略…運用資産を分けて考える

積極的にリスクをとり
比較的高い
リターンを狙う



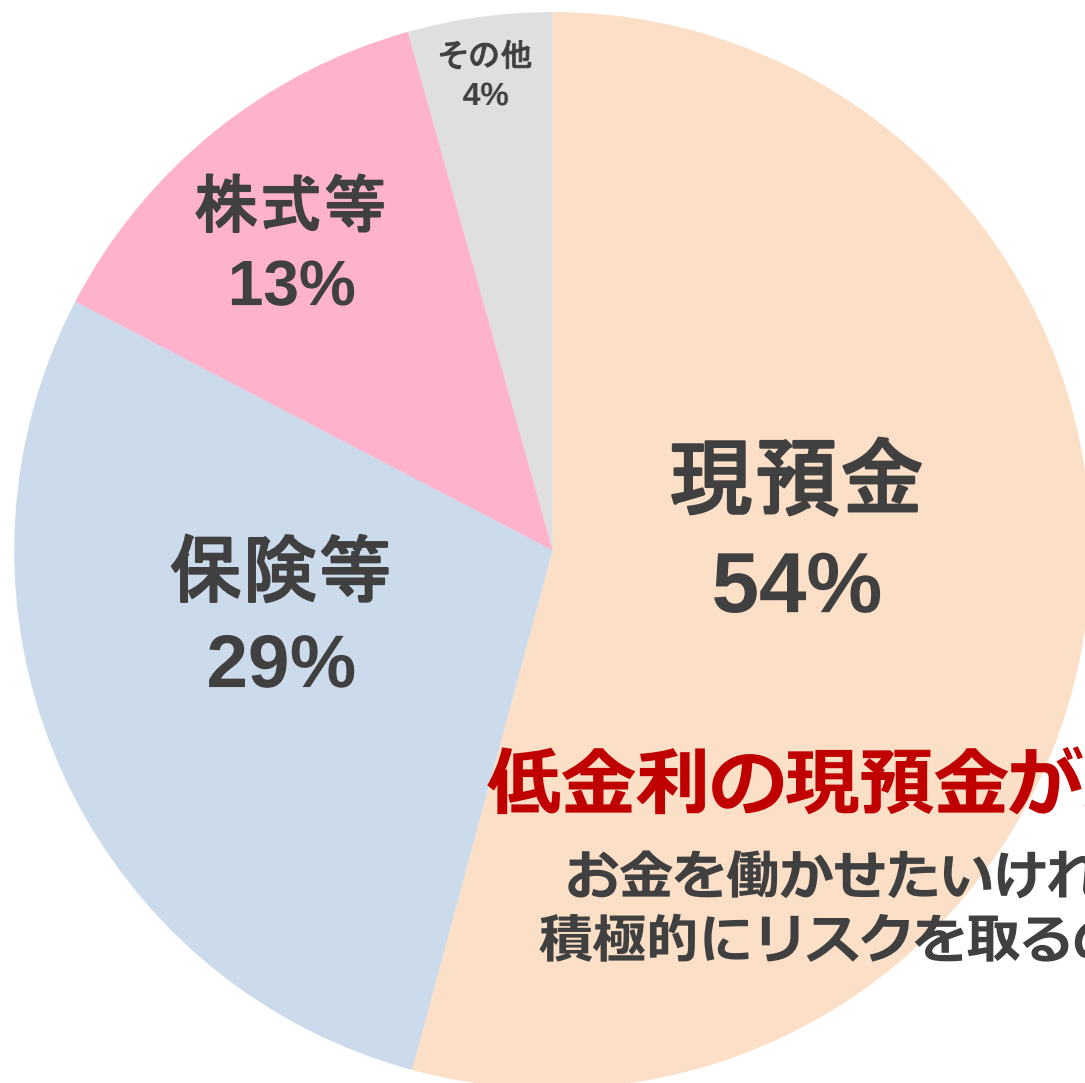
長期的に
じっくり増やす
安定した
リターンを期待

お金の色分けからコア・サテライト運用へ



安定性に配慮して一步を踏み出したい
⇒**コア商品の活用を検討してみる**

日本の家計金融資産は…



低金利の現預金が大半

お金を働かせたいけれど
積極的にリスクを取るのは

兆円	
現預金	1,000
保険等	524
株式等	240
その他	79
合計	1,845



定期預金でお金を眠らせてしまうと…

大手メガバンク3行・定期預金の金利 0.002%（税引前）

1,000万円を預入れた場合の利息は

1年

200円

5年

1,000円

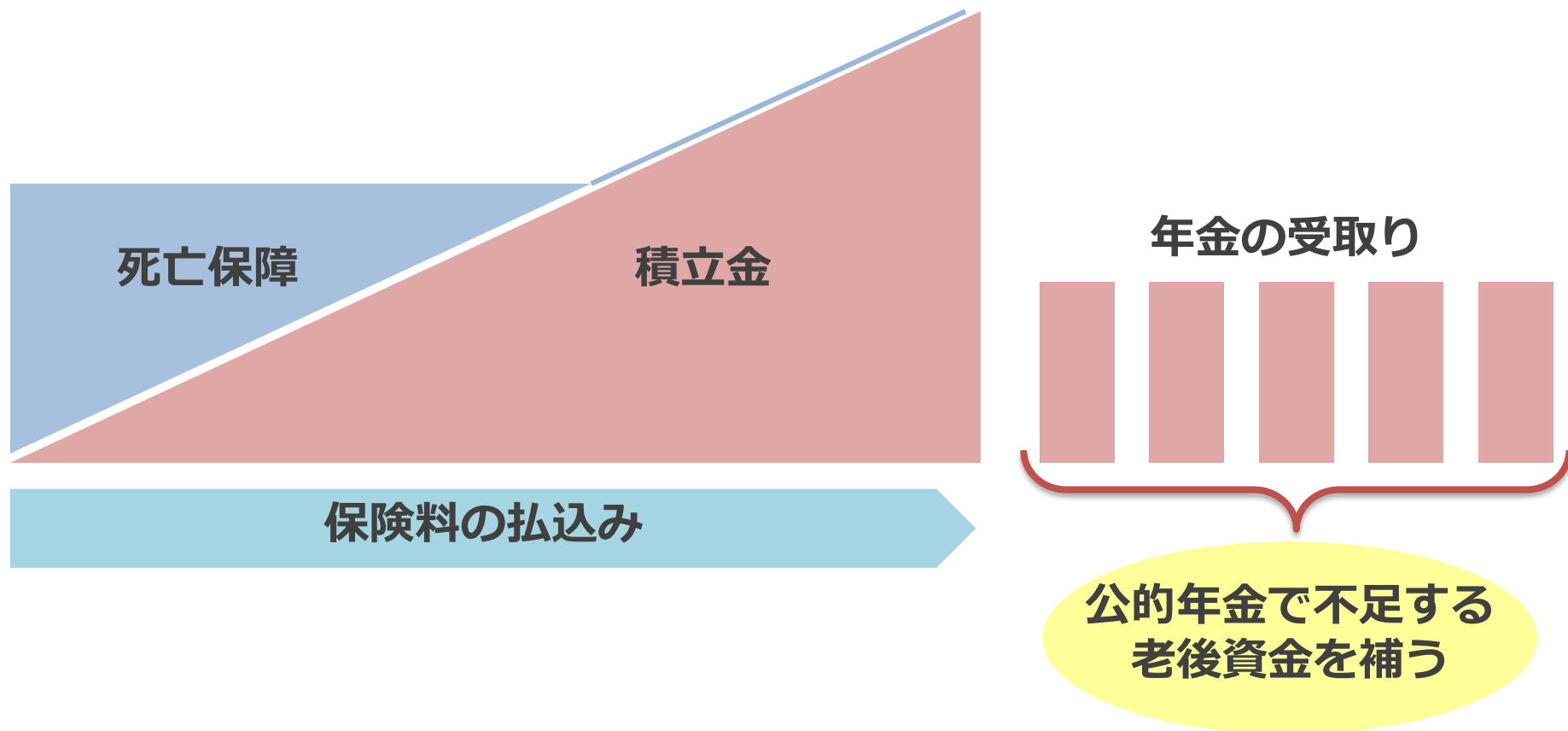
10年

2,000円



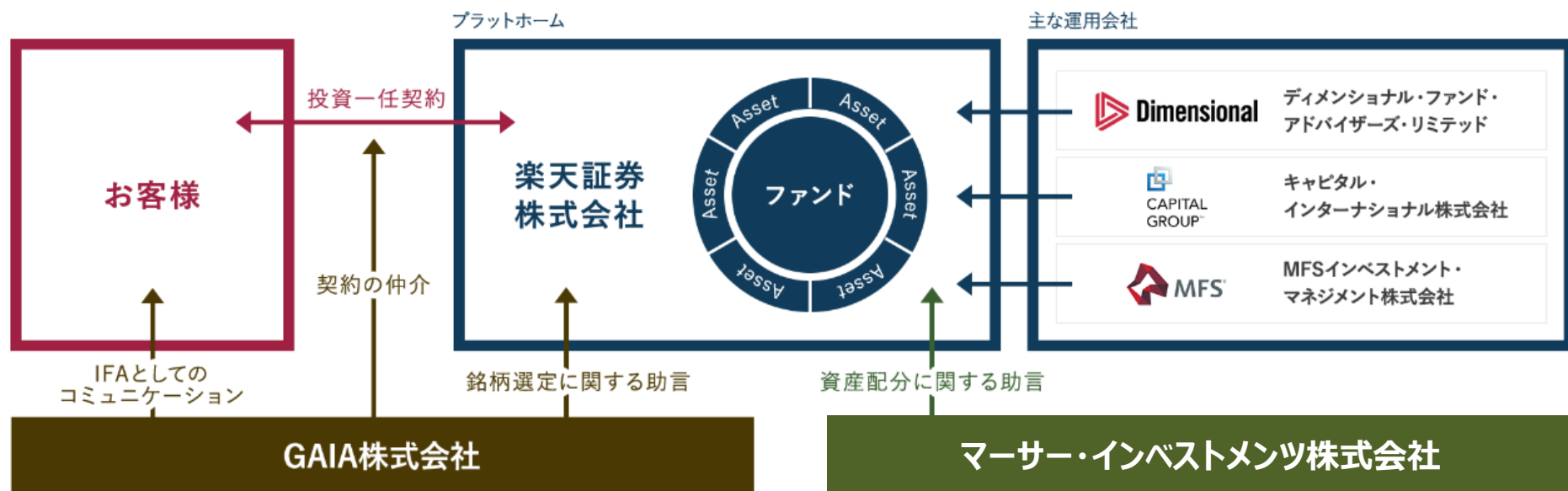
大手メガバンク3行の店頭表示金利を参考に作成（2020年8月11日時点）

コア運用の例 外貨建て保険（年金タイプ）



- ✓ 円建て保険よりも比較的高い予定利率で資産形成
- ✓ 一定の死亡保障が確保できる商品も
- ✓ 老後には運用しながら年金を受け取れるタイプも

コア運用の例 ラップ口座（GMA）



GMA
GAIAMonitoredAccount
(ファンドラップ)

買付手数料	管理費用 (含む信託報酬、税込・年率)
なし	約 1.8% ※

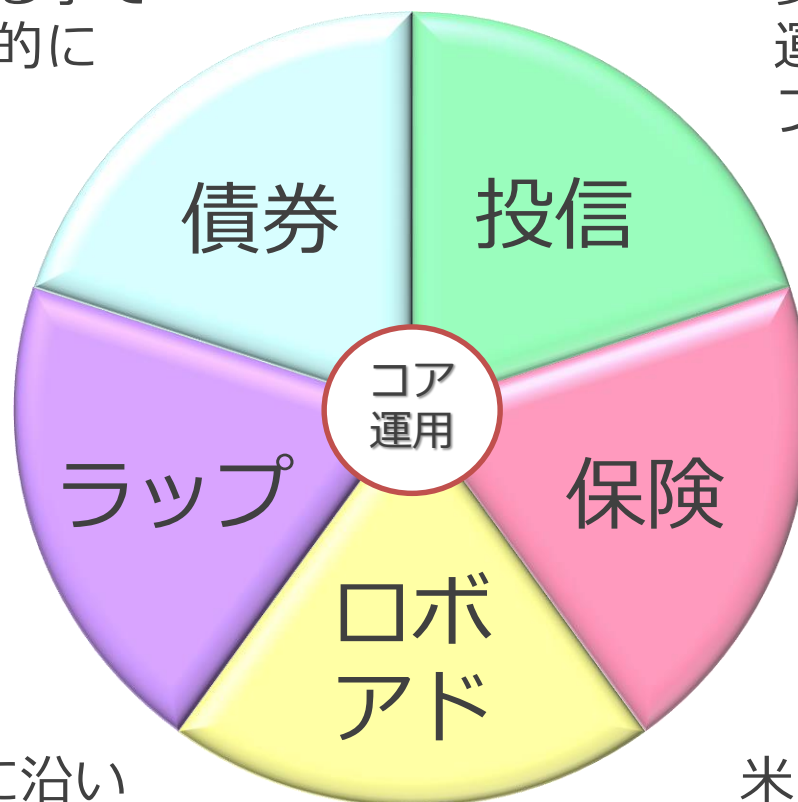
- ✓ フィーベース（預かり残高に応じた報酬体系）
- ✓ コミッション型と比べ、お客さまとの利益相反が少ない
- ✓ 長期投資を続けていただくための有効な仕組み

※固定報酬型に係る料率

コア運用の選択肢

外国債券を選択する事で
日本と比べて相対的に
高い利回りを期待

安定した値動き
運用成果を目指す
ファンドを選択



お客様のニーズに沿い
金融機関に運用をお任せ
資産配分等を定期的に見直し

米ドル建て等の
外貨建て商品では
比較的高い返戻率を期待

FP個別相談のご案内（無料）

FP個別相談のプロセス

《初回面談》
課題・目標
関心事をお伺い
現状のヒアリング

《2回目》
課題の再確認
解決策のご提案

《3回目以降》
ご希望に応じて
解決策実行の
お手伝い

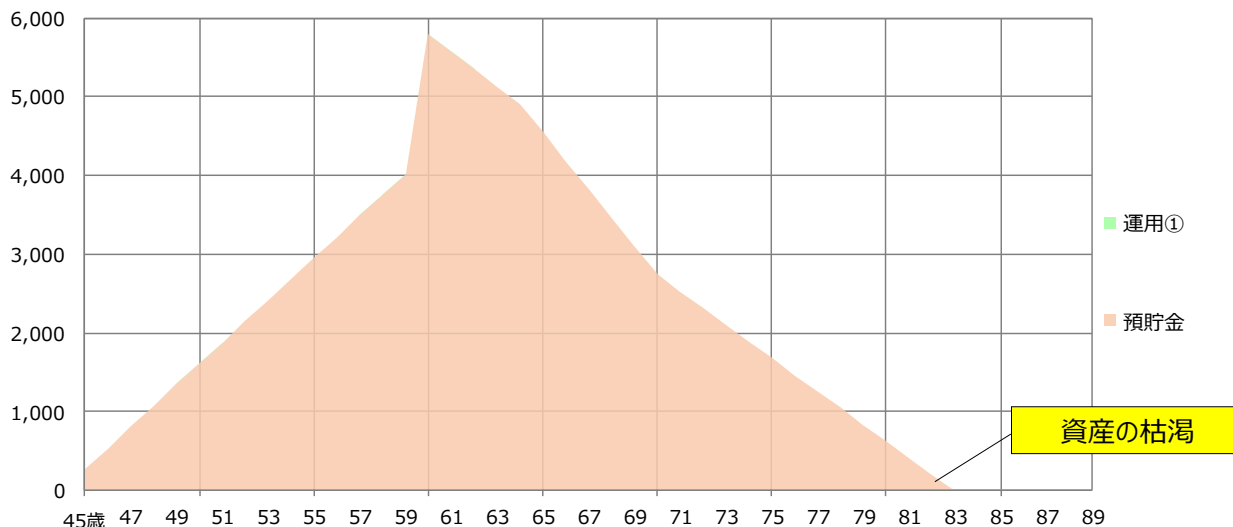


ご相談を頂いても、必ず弊社とお取引を頂く必要はありません
安心してご利用ください

シミュレーションの作成（現状）

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
	ご本人 様	45歳	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
	配偶者 様	42歳	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
	長男 様	14歳	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
	長女 様	6歳	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	Life Event									長男卒業							定年退職	長女卒業				公的年金
収支	収入																					
	手取収入	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	360	360	360	360	360	
	公的年金																					220
	退職金																2,000					
	収入合計	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	2,360	360	360	360	360	220
	支出																					
	基本生活費 0.0%	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420
支出	住宅ローン	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
	医療費	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	支出合計	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582
	年間収支	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	1,778	-222	-222	-222	-222	-362
	預貯金	268	536	804	1,072	1,340	1,608	1,876	2,144	2,412	2,680	2,948	3,216	3,484	3,752	4,020	5,798	5,576	5,354	5,132	4,910	4,548
	運用①																					
	資産合計 当初預貯金額	268	536	804	1,072	1,340	1,608	1,876	2,144	2,412	2,680	2,948	3,216	3,484	3,752	4,020	5,798	5,576	5,354	5,132	4,910	4,548

↑ ※いずれも翌年度の「預貯金」に算入



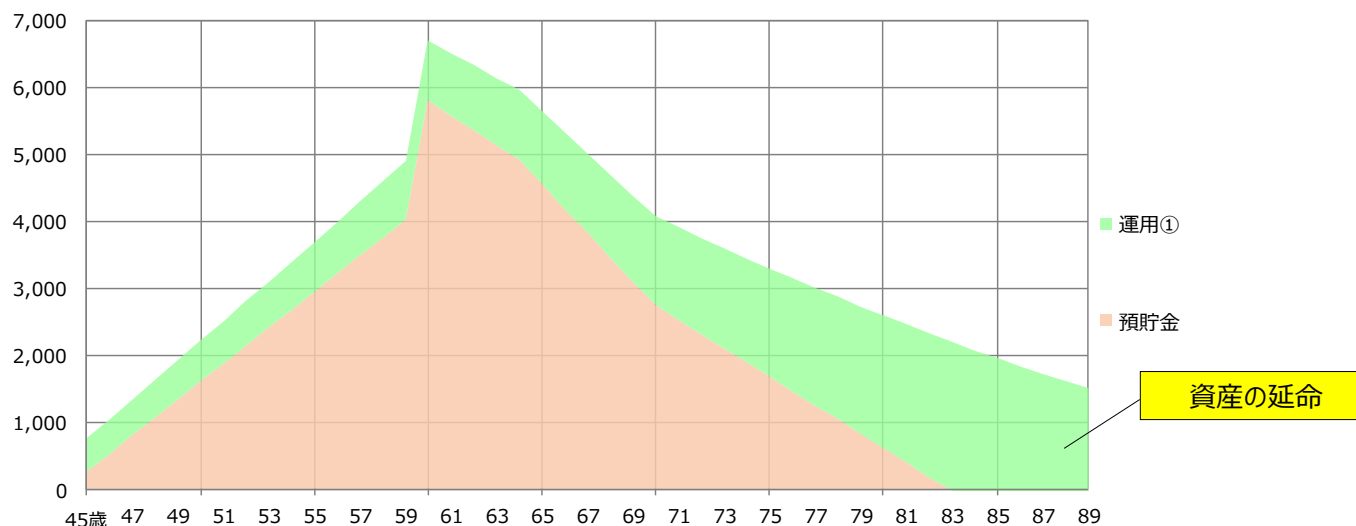
状況を「見える化」 老後の生活に十分な資産状況であるか確認

シミュレーションの作成（ご提案）

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
	ご本人様	45歳	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
	配偶者様	42歳	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
	長男様	14歳	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
	長女様	6歳	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	Life Event									長男卒業							定年退職	長女卒業				公的年金
収支	収入																					
	手取収入	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	360	360	360	360	360	
	公的年金																					220
	退職金																2,000					
	収入合計	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	2,360	360	360	360	360	220
	支出																					
	基本生活費 0.0%	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420
	住宅ローン	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
	医療費	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	支出合計	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582	582
	年間収支	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	268	1,778	-222	-222	-222	-222	-362
	預貯金	268	536	804	1,072	1,340	1,608	1,876	2,144	2,412	2,680	2,948	3,216	3,484	3,752	4,020	5,798	5,576	5,354	5,132	4,910	4,548
	運用① 4.0%	500	520	541	562	585	608	633	658	684	712	740	770	801	833	866	900	936	974	1,013	1,053	1,096
	資産合計	768	1,056	1,345	1,634	1,925	2,216	2,509	2,802	3,096	3,392	3,688	3,986	4,285	4,585	4,886	6,698	6,512	6,328	6,145	5,963	5,644
	当初預貯金額																					

取崩①▶

↑ ※いずれも翌年度の「預貯金」に算入



状況を「見える化」 老後の生活に十分な資産状況であるか確認

投資信託の見直し提案

投資信託ポートフォリオの資産の構成

1. 資産クラスの構成比率

投資信託の投資先資産クラスを分析し、投資信託ポートフォリオについて資産クラス構成比率を表示しています。

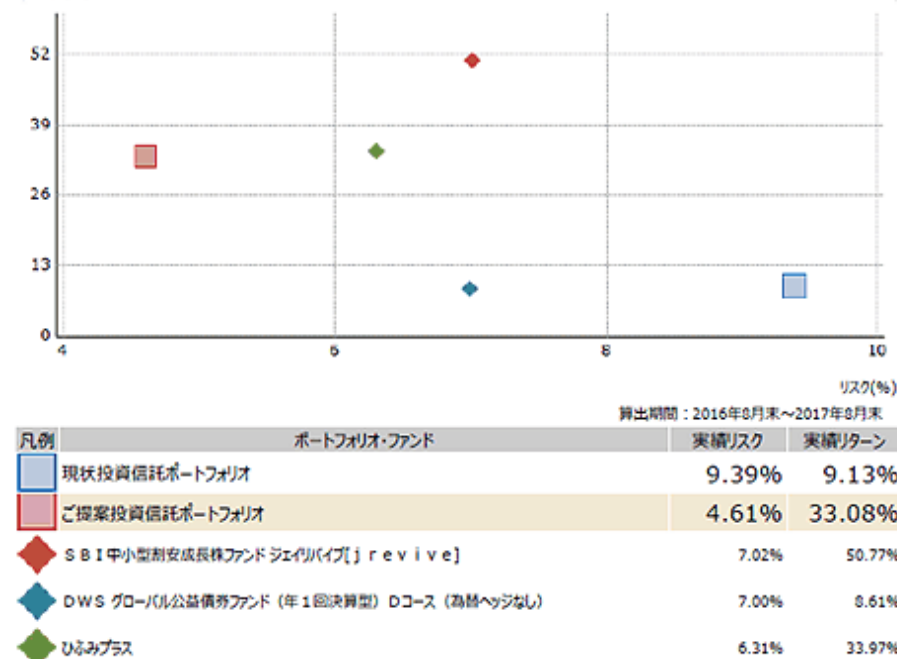


資産クラス	現状構成		ご提案構成	
	金額(円)	比率	金額(円)	比率
国内株式	0	0.00%	6,414,700	64.15%
外国(先進国)株式	0	0.00%	0	0.00%
外国(新興国)株式	0	0.00%	0	0.00%
国内債券	0	0.00%	0	0.00%
外国(先進国)債券	0	0.00%	2,337,000	23.37%
外国(新興国)債券	0	0.00%	41,700	0.42%
国内REIT	2,963,700	29.64%	0	0.00%

構成ファンドで見る実績リスクとリターン

1. 実績リスクとリターンの分布

投資信託ポートフォリオと構成ファンドについて、過去の実績に基づくリスク・リターンを分析しています。



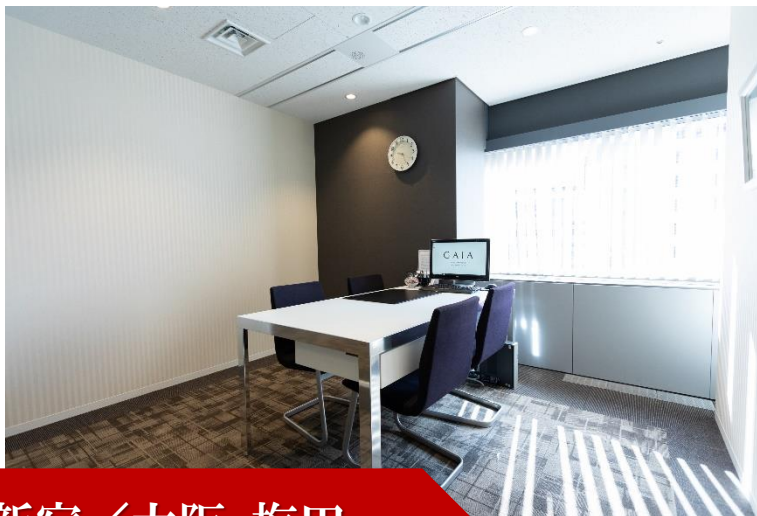
資産配分、リスク・リターン等の状況を診断
必要に応じて見直しのご提案を致します

このようなお客さま FP個別相談をご活用ください

- インターネット証券で口座を作ってみたけれどこのままで良いのかわからない方
- 銀行に預けたままの預金を有効活用したい方
- 自分の目標や課題がはつきりしていない方
- 老後の生活について漠然とした不安を抱えてる方
- 投資信託や保険などの見直しをしたい方
- 住宅ローンの新規または見直しを検討している方
- 何から相談して良いかわからない方



ご相談方法について



東京・新宿／大阪・梅田
オフィスでのご相談



＼自宅からFPに相談！／
カンタン接続

- **ZOOM** を使用 -

お持ちのパソコン、タブレット、
スマートフォンに対応！

オンラインでのご相談



オフィスのご案内（新宿）

最寄り駅

新宿三井ビルディング2号館10F

G A I A



- JR線・私鉄の新宿駅南口より徒歩9分
- 都営新宿線・京王新線 新宿駅・新都心口より徒歩7分
- 都営大江戸線 都庁前駅・A4出口より徒歩6分

オフィスのご案内（大阪）

最寄り駅

清和梅田ビル8F



ガイア株式会社 大阪オフィス

〒530-0057

大阪府大阪市北区曽根崎 2-12-7

清和梅田ビル 8 階



- JR大阪駅中央改札口 徒歩5分
- 阪急電鉄阪急梅田駅 3階南改札 徒歩5分
- 地下鉄谷町線東梅田駅 北西改札 徒歩1分

- 地下鉄御堂筋線梅田駅 南改札 徒歩2分
- 地下鉄阪神本線梅田駅 東口改札 徒歩2分

出口2から直結しています

お申し込み方法

専用の予約フォームよりお申込みください



無料個別相談予約フォーム

1.お客さま情報入力

2.無料個別相談予約完了

以下の項目にお客さま情報をご入力の上、「送信する」ボタンをクリックしてください。※は入力必須項目です。

相談希望日時（第1希望日程）※

yyyy-mm-dd



相談希望日時（第2希望日程）※

yyyy-mm-dd



相談希望オフィス※





東京・新宿／大阪・梅田
オフィスでのご相談

オンラインでのご相談

＼自宅からFPに相談！／
カンタン接続

- **ZOOM** を使用 -

お持ちのパソコン、タブレット、
スマートフォンに対応！



セミナー終了後、お電話でも予約受付！

0120-03-3704

本日はありがとうございました

- ・本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。

金融商品取引法66条の10（広告等の規制）に基づく表示

金融商品仲介業者の商号GAIA株式会社 登録番号：関東財務局長（金仲）第235号

■ 所属金融商品取引業者

楽天証券株式会社金融商品取引業者関東財務局長（金商）第195号

加入する協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

株式会社SBI証券金融商品取引業者関東財務局長（金商）第44号

加入する協会：日本証券業協会一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ウェルスナビ株式会社 金融商品取引業者関東財務局長（金商）第2884号

加入する協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

- ・当社は所属金融商品取引業者の代理権は有しておりません。
- ・当社は金融商品仲介業に関して、お客様から直接、金銭や有価証券のお預かりをすることはありません。
- ・所属金融商品取引業者が二者以上ある場合、どの金融商品取引業者がお客様の取引の相手方となるかお知らせします。
- ・所属金融商品取引業者が二者以上ある場合で、お客様が行なおうとする取引について、所属金融商品取引業者間で支払う手数料が相違する場合は、その説明を行ないます。

■ 手数料等について

商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等（例えば、国内の金融商品取引所に上場する株式（売買単位未満株式を除く。）の場合は約定代金に対して所属金融商品取引業者等ごとに異なる割合の売買委託手数料、投資信託の場合は所属金融商品取引業者等および銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費等）をご負担いただく場合があります（手数料等の具体的上限額および計算方法の概要は所属金融商品取引業者等ごとに異なるため本書面では表示することができません。）。債券を募集、売出し等又は相対取引により購入する場合は、購入対価のみお支払いいただきます（購入対価に別途、経過利息をお支払いいただく場合があります。）。また、外貨建ての商品の場合、円貨と外貨を交換、または異なる外貨間での交換をする際には外国為替市場の動向に応じて所属金融商品取引業者等ごとに決定した為替レートによるものとします。

■ リスクについて

各商品等には株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況（財務・経営状況含む。）の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ（元本欠損リスク）、または元本を超過する損失を生ずるおそれ（元本超過損リスク）があります。

なお、信用取引またはデリバティブ取引等（以下「デリバティブ取引等」といいます。）を行う場合は、デリバティブ取引等の額が当該デリバティブ取引等についてお客様の差入れた委託保証金または証拠金の額（以下「委託保証金等の額」といいます。）を上回る場合があると共に、対象となる有価証券の価格または指標等の変動により損失の額がお客様の差入れた委託保証金等の額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。

上記の手数料等およびリスク等は、お客様が金融商品取引契約を結ぶ所属金融商品取引業者等（上記記載）の取扱商品毎に異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料等をよくお読みください。

■ 生命保険について

GAIAの生命保険募集人は、保険契約の締結にあたり保険会社の承諾を必要とする媒介の権限のみが認められており、契約締結の代理権や告知受領権はありません。保険契約の申込をされる際は、ご契約のしおり、約款、重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）、契約締結前交付書面等の書面を十分にご確認くださいようお願い申し上げます。また、変額保険には運用リスク等のリスク、外貨建て保険には為替リスク等のリスクがございます。リスクや手数料等の重要事項をよくご確認ください。

取扱生命保険会社

ソニー生命保険株式会社

メットライフ生命保険株式会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

オリックス生命保険株式会社

ジブラルタ生命保険株式会社

FWD富士生命保険株式会社

マニユライフ生命保険株式会社

■ 楽天証券ラップサービスについて

お申込みにあたっては、契約締結前交付書面、投資一任契約約款および確認書の内容を必ずご確認ください。ご自身で判断ください。

投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

当資料は信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料は各運用コースの運用方針に則り運用を行った場合に想定されるパフォーマンスを示したものであり、実際に運用を行った結果ではありません。表示されているパフォーマンスは過去のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

■ 銀行代理業について

GAIA株式会社はソニー銀行を所属銀行とする銀行代理業者です。

GAIA株式会社では、住宅ローンのお申し込みの媒介ができます。